

「今が一番しあわせですー」

出番
267
金子トミエさん



金子トミエさん（黒崎・75歳）

《267》

★：学校を終わって、神奈川県
の軍事工場で飛行機の部品を作る
仕事をしました。★：終戦
で戻ってきて、二十三で田野畑
の集合から嫁にきました。★：
父さんと出稼ぎに静岡県に
行きました。よつ子（娘）が幼
稚園に入る年でした。静岡
岡では会社で一軒家を借りてけ
で、ごはんも燃料も何も会社持ち
で。良い手間だったんです。だ
も、わらすー（娘）思うぞーど泣
きました。★：今は好きな
野菜をつくったりしてます。孫
も三人いのにぎやがです。今が
一番しあわせですー。

普代の植物散歩

22

「スイカズラ（すいかずら科）」

大森 竹之助さん（久慈市在住・71歳）

普代村を一巡して車から
目の届く範囲に、スイカズラ
は見あたらない、そう思った
最後に黒崎公葬地の石積み
のところ、よく繁茂したス
イカズラを見ることができ
た。
黒崎にはここだけでなく、
別の箇所でも見ることがで
きる。すいかずら科の常緑
つる性木本。昭和二十年代
までは、垣根や荒地地に多
く生えていたし、里山にも
あつてそれぞれ薬草として、
利用するために夏に採取し
て陰干して蓄えていた。



黒崎周辺（写真：大森さん提供）

かつて理科研究会のメン
バーが、スイカズラの分布
を調べたことがあった。
現在と比べて株数は格段

に多かつたことを覚えてい
る。

花期は六月、花冠は細長
く先端は五裂し、一つは
下を向いている。花は白
く強い香りがあり、果実
は丸く黒く熟す。名の由
来は水を吸うカズラとか
いわれる。外国名の「忍
冬」は常緑で冬を忍ぶか
らという。また、花はは
じめ白く、やがて黄色に
変化するので「金銀花」
ともいわれる。
有名な薬草で、花を摘
んで乾燥したものは、関
節痛、風邪の解熱、利尿
としては忍冬とよい、腫れ物
や口内炎、湿疹、かぶれ
に、忍冬茶を飲めば利尿
に、浴湯料として用い
れば、神経痛や痔の痛み
に、茎葉と花とを酒に浸
して飲むこともあった。
北米やヨーロッパでは
野生化して繁殖し、嫌わ
れているという。確かに
蔓性でよく繁殖するの
で、やっかいものである。

川柳 五七五 文芸の世界

川柳愛好会
十一月例会作品

幸せにシナリオ通り老いている 三上 翠香
悔いの無い余生を探す迷い舟 深渡 汀女
ふた昔三昔語る玩具箱
二の舞の果たせぬ夢が眠らせぬ
哀愁の月の砂漠を歌う宵
ありったけ今日はおしやれの姥桜 太長根英子
困り裏端昔語りがはじまるよ
泥舟と知らずに乗った狸です
また同じ過ち犯し自己嫌悪 嵯峨 待女
大都会夜の砂漠で飢えている
ありったけ大声を出し憂さ晴らし
昔話しかたってくれた祖父しのぶ 加差野静浪
朽ち果てる心算で漕いだ笹の舟
大宇宙夜の砂漠が冷えてくる
二の舞を踏めばこうなる父の背な